

<建設業会計 1級（財務分析）ミニテスト12> 健全性の分析

【問題】 下記の文の□の中に入る適当なものを下記の用語群の中から選び、その記号（ア～サ）を答えなさい。また、（ ）の中には、下記の甲社の資料に基づいて算定された数値を解答しなさい。なお、同一の記号を2回以上用いてもよく、また、解答に際しての端数処理については小数点第1以下を切り捨てること。

企業財務の健全性を見るにあたっては、短期的な負債に対する支払能力を示す、通常、銀行家比率と呼ばれる□1が最も重要視され、甲社の場合は、（ a ）%である。

また、一般に固定資産は自己資本の範囲内で賄うことが理想とされており、これを判断するための割合が□2で、甲社の場合は（ b ）%である。このことは、固定資産は自己資本だけでは賄えず、一部が□3によって賄われていることを表している。このような場合、それが□4でないことが望ましく、そのことを判断するための指標が□5で、甲社の場合は（ c ）%である。このことは□6が固定資産の購入のために充当されていないことを意味し、固定資産投資に関しては、甲社は健全であるといえることができる。

[用語群]

ア 現金比率	イ 固定長期適合比率	ウ 固定比率	エ 固定負債
オ 積立金	カ 当座比率	キ 負債	ク 負債比率
ケ 流動負債	コ 流動比率	サ 留保利益	

[資料]B/S 全数値

流動資産	300,000 千円
固定資産	77,000 千円
繰延資産	1,000 千円
流動負債	270,000 千円
固定負債	65,000 千円
純資産	43,000 千円

【解答】

1	2	3	4	5	6

a		b		c	
---	--	---	--	---	--